2014 年 7 月 28 日　「伝道の心構え」　石川祐司教会長

以下に、訓読のみ言を掲載いたします。

＜訓読のみ言＞
『天聖經』
第八篇 信仰生活と修練　　第一章 信仰生活とは何か
第五節 信仰生活での体験
み言の体験
3 統一教会の原理のみ言を聞いて、教会に行こうと決心すると、必ず試練が伴います。あるいは、原理のみ言を聞くと約束しておくと、必ず家に何か事故が起きたり、いつも何か出来事が起こります。皆さんは、そのような体験をしたはずです。これは間違いない公式です。なぜなら、個人的な環境から、より高く上がろうとすれば、サタンがてっぺんから押さえつけるからです。
4 誰よりも深い心情関係を経て与えようとするので、み言を深く知らなければなりません。100 パーセント以上の心的基準と連結される立場に立とうとすれば、そのように深いところまで体験し、実感しながら与えなければなりません。そのような心をもってみ言を伝えなければなりません。行動的な面で、彼らが「私」を好ましく思うことができるようにしなければならないのです。
5 信仰生活は実戦です。実戦で勝たなければなりません。新しい人が教会に行こうとするときは、必ずサタンが動くのです。新しい人が入ってこようとすれば、必ず妨害しようとします。ですから、それを克服させるためには、主体が絶対的でなければなりません。完全なプラスは完全なマイナスを創造します。ですから、うやむやではいけません。確定的な立場で、すべてのことを説明しなければならないのです。